

「石川県輪島市 / 白米千枚田」



「春光に 群れて童女が 蓬摘む」
野菜のアカザ、ウコギその他は女子の摘草、笹の葉等山菜は男子の仕事だった昭和の戦時中の事。母が蓬を下処理して餅に入れて搗く、それに小豆餡を入れて包み笹の葉で捲く、それを母は徹夜で600個程造る。子供、兄弟、知人の他、手間の無い隣人や疎開者の分である。朝起きて台所を見ると仏様の様な母が居た。笹団子一つ貰って食べた。今でも忘れられない美味だった。
そんな母が寝たきりになって歩行不能となったのは83歳の頃。元気な頃は車椅子を押して選挙は欠かさなかった。定年になって話合うのが楽しかった。そしてこれから親孝行すると言ったら笑った。
「俺は親より長生きするのが最高の親孝行だと思おう」と言うのと、それが一番だと涙を浮かべて笑った。母ちゃんとの約束守れよと言った。85歳8ヶ月後に亡くなった。

「母と端午の節句」

小川 清一

の生涯だった。
私も母と同様85歳になった。大病続きの身体で自信はないが、残り8ヶ月、介護福太郎の介護士の方の協力を得て、母との約束は叶えたい。これ母との約束をしてから28年間の満願となり、最近夢は見た事はないのに、年々無性に母と話合いたいと思う時が増えた。

「紙冠
被れば鐘撞も
稚児となる」

「汗なして
板場に母は
眠るなり」

笑われても良い母に会いたい
俳句は素人で自己流です。



新型コロナウイルス感染症
「私たちが今出来る予防対策」

「新型コロナウイルス感染症」の流行に不安を感じていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染によりうつると言われています。予防には風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、咳エチケットや手洗いなど一人一人の心がけが大切になってきます。

< 咳エチケット >



① 咳やくしゃみを手で押さえる → 咳やくしゃみを手で押さえると、その手にウイルスが付着します。ドアノブなどを介して他の人に病気をうつす可能性があります。



② 何もせずに咳やくしゃみをする → 咳やくしゃみをするとき、しぶきが2mほど飛びます。しぶきには病原体が含まれている可能性があり、他の人に病気をうつす可能性があります。



3つの咳エチケット



・マスクの着用
(口・鼻を覆う)



・マスクが無い時
(ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う)

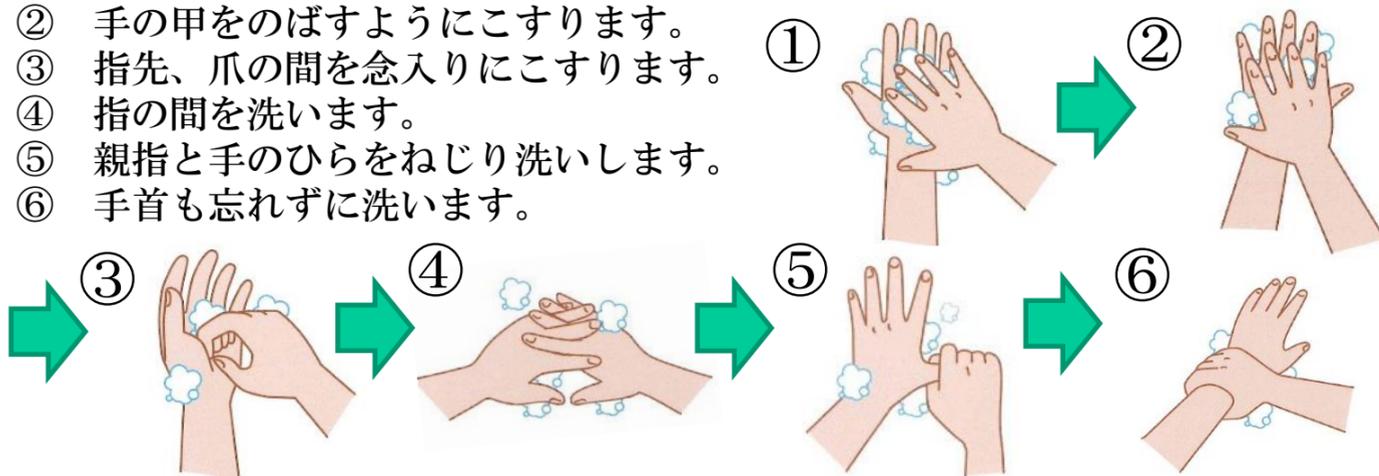


・とっさの時
(袖で口・鼻を覆う)

※ 鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう

< 正しい手の洗い方 >

- ① 流水でよく手を濡らした後、石鹸をつけ手のひらをよくこすります。
- ② 手の甲をのばすようにこすります。
- ③ 指先、爪の間を念入りにこすります。
- ④ 指の間を洗います。
- ⑤ 親指と手のひらをねじり洗いします。
- ⑥ 手首も忘れずに洗います。



< 密を避けて外出しましょう >

- ① 換気の悪い密閉空間
- ② 多数が集まる密集場所
- ③ 間近で会話や発声をする密接場面

※ 新型コロナウイルスの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。イベントや集会で3つの「密」が重ならないように。

厚生労働省HPより

「白虎隊の招集は

(戊辰戦争)

石筵の敗戦を早く知ったのは、ある朝、井深梶之助、高橋新吾、河野保太郎の十五歳になる三人だった。三人は幼いころからの仲間、ある日、戦場になる大野原の初箭狩りに出かけた。次の日に白虎隊の戦場の場となるが、滝沢峠茶屋で休んでいると旅人らしい男がやってきた。何か戦争の話はないですかと聞くと、その男性は「会津の大敗北で官軍は進んでいるあなた方も早く家に帰られたい」といわれ驚いて帰宅したが、子供のせいか親たちに知らせなかった。二十二日は風が強くと小雨まじりだった。土中白虎一番中隊の永岡清治が朝早くから友達の家に向かう西出丸の城門から出てくる父権之進に出会った。父は猪苗代方面の地雷火を仕掛けに懸命だったが、官軍の侵入を知らせるため小関という馬に乗って戦況を報告して帰る途中だった。猪苗

代から五里(約20km)で父と話している間に官軍は近づいていることを実感していた。

米代四ノ丁の家に帰った二人は家族を集めて権之進を中にして別れの盃を汲もうとしたが、急なことで酒肴もなく永岡少年は板の釘を抜いて折り曲げて釣針を作り庭の池から一尺余の鯉を二匹釣り上げて肴にして別れの盃をくんだ。敵兵が近いのに心の乱れなど見せぬ会津武士の出陣の祝いだった。権之進の知らせで官軍の侵入を知った家老たちは評定を開いて対策を立てようとしたが、多くの藩士たちは出払っていて傷病兵の他は老人と少年しか残っていない。なかに形勢の悪化から弱音をほき降参論を語る者さえいた。

次月号に続く

佐藤 一男

歴史散策

飯盛山

会津若松市一箕町に位置。飯盛山という名前の由来は、この山が飯を盛ったような形なので、この名前が付けられたという。

江戸時代後期、戊辰戦争の際に新政府軍と幕府方の会津藩の間で発生した会津戦争に際して、会津藩では藩士子弟の少年たちで構成される白虎隊と呼ばれる部隊が結成され抗戦するが、そのうち土中二番隊が戸ノ口原の戦いにおいて敗走し撤退する際に飯盛山に逃れ、鶴ヶ城周辺の武家屋敷等が燃えているのを落城と錯覚し、もはや帰るところもないと自刃した地でもある。



JR 会津若松駅前 白虎隊銅像

「里山の句の山菜を食卓に」当初は定番通りワラビ

から。ワラビの灰汁を抜き、根元の硬い部分を切る、捨てていた部分を細かく切り刻み、ミキサーに掛けてワラビ汁を採る。そして麺汁で味を調え麺全般を食べる。夏素麺が最高。翡翠は、溪に潜って、藍を増す。

アケビは、若芽の蔓を鋏で採取し、味塩で漬ける。冬になって、来客等で酒の肴に卵黄入れる。根曲り竹や、笹竹の穂先の萌を天麩羅か、アルミホイルに包み焼きにして食する一方、納豆と合えても美味、又大きく開いたコゴミの穂先を採取、熱湯を掛けた後、天日干しにして保存。後日油揚げと炒め煮も万人向きの触感がある。その他の山菜は、天麩羅、各種和え物、特別梓は漆萌の胡桃和えもあるが、余りおすすめは出来ない。以上酒の肴の話は終了です。



「夕暮に源氏螢がワルツ舞う」小川 清一

俳句 北山百合俳句会

私は一人ではない
人々に助けられ
生きていく
大丈夫
大丈夫
人が広がり
孤独に沈む
心を開いてくれる
大好きな言葉



作「野邊 学」

短歌

よく食べてよく遊ぶ子や鯉職 松 みどり

土手に来て露のとうつむ人ありて
空は曇りて吹く風寒し
老の身の日々のくらし
むづかしき前向きにと
見つけたかな書百人一首
小林 深雪

俳句

寝ころんで時間が流るる花日和 中川 幸恵
まろびねの釈迦のごとしよ春炬燵 鈴木 隆一郎
同級会歌を歌いて春の宵 武藤 敏子
耕せば土に力の出てきたる 佐藤 信子
会津路を巡りて聖地三十三観音 ミエ子
店先の手招きするや柏餅 Y 子

水彩画



作「高田 壽治」

絵てがみ



作「渡邊 鶴子」

川柳

語り部の人らも聞き居る誰しもの
面の穏しく拍手をおくる
坂内 久美子

景気浮揚会津十楽春の陣
赤ベコもお山も笑うおもてなし
婦唱夫随妻の太鼓が鳴りひびく
まだ傘寿燃えるマグマは秘めてある
稼ぐのが趣味とくこの字の腰を撫で
大声で五輪音頭を唄いたい
川島 英雄

私たち社員一同で
真心を込めたサービスと
感動を提供します。

福祉用具レンタル・販売・メンテナンス
プライムケアイースト株式会社
http://www.pc-east.com

ENEOS 燃料油のご用命は当社にまかせください!

JXTGエネルギー(株)特約店

株式会社 栗林商店
代表取締役社長 栗林 陽志

〒965-0042 会津若松市大町二丁目5-8
TEL 0242-22-3930 FAX 0242-22-2335

車のことなら何でもおまかせください

有限会社 大島ボテイ

〒965-0080
福島県会津若松市神指町橋本59番地
TEL0242-24-7585 FAX0242-32-0775

厚生省生衛第134号

全国介護環境整備協同組合

株式会社 アンミン

〒992-1125
山形県米沢市万世町片子5152
TEL0238-21-4340 FAX0238-24-0166